

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	進行胃癌患者における Dako PD-L1 IHC 28-8 pharmDx を用いた CPS 発現に関する検討
	研究目的	進行胃癌において Combined Positive Score (CPS) は免疫チェックポイント阻害剤であるニボルマブの効果予測因子として確立しています。CPS の値に関しては報告により一貫しておらず、実臨床における CPS の分布および患者さんの背景（年齢、性別、癌の進行度、遠隔転移の有無、病理、遺伝子異常など）との関連は明らかにされていません。本研究では当院での実臨床における CPS の分布、患者さんの背景との関連などを調査し、CPS の実態を明らかにすることを目的としています。
	研究対象者	2022 年 1 月から 2022 年 10 月までに当センター消化内科にて胃癌に対する治療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 11 月 14 日～西暦 2024 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器内科・消化管 濱口 智美
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科・消化管、胃食道外科、がんゲノム診療科、病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター 消化器内科・消化管 濱口 智美